

# 古事記を読む会

20号 (2016,4,10)

呉羽山の桜が一斉に花開き、山萌える春が楽しめます。

今回は、各自のテーマを簡単に交換します。その中から、今回は村上さん・近藤さんの提案も入れて、意見交換をしたいと思います。

桜がまだ少し見られますので、花見会食もしたいと考えています。

【会員の動き】高原氏は、西国巡礼ということで、2回欠席されます。前回は、徳島から室戸岬に向かう道で、まだ8キロの行程におられるとのこと。これで1週間目、皆さんによろしくと携帯電話あり。会員の幾島さんは、4月から東北大学の大学院へ進学されることになる。お世話になりましたと、大塚屋のどら焼きを持って来られる。これからも軍記物を中心に中世文学を勉強されるという。前途洋々、これからの幾島さんの御活躍に期待します。休みに富山へ帰られたら、是非、顔を見せてお話をしてくださいね。

## 【前回の流れ】

残された上巻のp135から音読しました。

服部氏 赤貝をひさぐと真っ黒、ハマグリの乳を混ぜる。母乳を混ぜたかと書かれているものもある。母乳は治療薬として魅力的である。

近藤氏 「チ」やまたのおろ「チ」とか、精霊が宿ると書かれているものを読んだ記憶がある。血もチである。乳もチ、チ。

イズミ氏 チはTではない。ヤマトコトバのチィでもある。道(ミチ)、  
いう ももちよろず、神や精霊の感覚がでている。

チ : 小さく、少しだけ出ている。見えにくい。

乳は治療に役立つのか? 面をつくり、外からの感染を防ぐ。(服部氏)

命の根源の乳(チチ) 血液の血(チ) 霊力を表す。

イズミ氏 血液の血

乳 だらだらと道をつくる共通点がある。

形で見えて言っていると考える。

オオクニヌシ クニというのは、クk+ヌN (かな、こね等) 語彙数は少ない。クニがくりかえし出てくる。

## 【イズミ氏】 別紙資料参照

k-t 音語、と k-s 音語の系譜

・・・カツラ（香木）とキサ貝によせて

k-t 音語

k-s 音語

カツ（勝、搗・且）勝つというのは、  
かつかる。どちらかに疵ができる。

かすが（春日）：春日がかち割って  
はいり込む。

面をかち割れば勝つ。→一部をカットする。もともと同じことを言ったので？

cutした残りかすが、かすめた結果残るものが、かす。

かす、滓の動詞 貸す。貸すの名詞 カセ、足かせ

※イズミ氏オリジナル『カード64』より 紹介

コトバ=コト（言）のハ（葉）。

カサ（笠 瘡）とカセ（枷）、

カタコト=ONECUT。

カズ（貸）、カサネル（重）姿。

k-t、k-sの音

基本は何か？尋ねることは、コトバを解釈する上で役立つ。

同じ形状から発したものと考える。

キサグは、ギザギザができる。グは、動詞をつくる語尾。

ケズル→cut カツラ か+ツラ、カツ+ラ

音韻を長く伸ばす読み方、歌会始などでみる。かーつー（ラー）としたとも。

☆葦原中国は何か？

五十嵐顯 豊葦原の瑞穂の国 米の稔る国になったが、以前は葦原だった。

葦原は、荒れ地というより、大切な資源だった。ウマシアシカビヒコジの神。

国譲りは、思ったより遅かった。資料を見ていて、4世紀半ばとあった。

近藤氏 崇神天皇の時、出雲のフルネに刀を差し出させた。その頃。

ヤマト王権の力の広がり・・・景行天皇の頃、ヤマトタケルの命の話  
は、王権の拡張を示す。

カツラと 葛（クズ） クズと言うのは吉野地方にある地名から。

地名がなぜそのように言われたかも探ることが必要。

針山氏 謡曲「葛」（くず） 天武天皇を護った。

近藤氏 西洋神話→創る 古事記 → なる。生む。

五十嵐顯氏 神がつくる、（結）ム ス ヒというコトバがある。

服部氏 「大同類従」本草 中国の薬の影響が大きい、和薬の療法が  
書かれている。大三輪神社を参拝する計画。大三輪神社に薬の道がある。

【次回】 →本日

4月10日には、各自テーマを書いてくる。古事記で気になるテーマ。

今後豊栄稲荷神社のホームページで連絡をしあえるようにする。（準備中）

会費1000円を集めます。 計画案、会計報告などあり。